



一般質問…… P 2  
12月定例会から

町議会審議結果…… P 7  
上川町長寿祝い金条例の制定  
上川町駅前広場設置条例の制定  
上川町税条例の一部改正  
上川広域滞納整理機構の設置  
平成20年度補正予算

行政報告…… P 8

委員会の動き…… P 9

意見書の提出…… P 10

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



「上川消防出初式」

# 第8回町議会

## 一般質問

平成20年度第8回町議会（定例4）の一般質問は、12月18日に行われ、3議員5項目について町長の考え方を問いました。

### 教育現場の実態は

安部 議員

近年、教員評価制度の導入や教員免許更新制等、現場の先生たちの置かれている状況は、ゆとり教育から詰め込み教育の復活と併せ不安定化を呼んでいます。

不適格先生との烙印や教員同士の対立の構図が浮上してきます。

長期不登校児、学級崩壊等、先生の資質以前の問題もあります。

また、国庫負担の削減により学校の図書整備率が全国最低であり、教材費も不

足していると聞きます。

4点について伺います。1つ目に、地方公務員法には、不適格と判断された場合、降格や免職の制度があるが、教員にだけ更新制や評価制度を設ける根拠は何か。

2つ目に、副校長制や大規模校に主幹教諭を置くことは、労務管理の強化につながると思うが、教員数の実態に合うのか伺いたい。

3つ目に、上川管内でも図書費の交付税を一般財源として一部流用していると聞か、上川町は適正に使われているのか、教材費についても伺いたい。

4つ目に、札幌で起きた8年間我が子を自宅監禁する事件がありました。上川において長期欠席者（不登校児）はいるのか。いるとすれば、どのような対応（対策）がとられているのか伺いたい。

### 教員長答弁

信頼される学校づくりを推進し、成果を児童生徒に還元する

1点目のご質問でございますが、平成19年6月27日

に教育職員免許法が改正され、平成21年4月1日から教員免許更新制度が導入されることになりました。

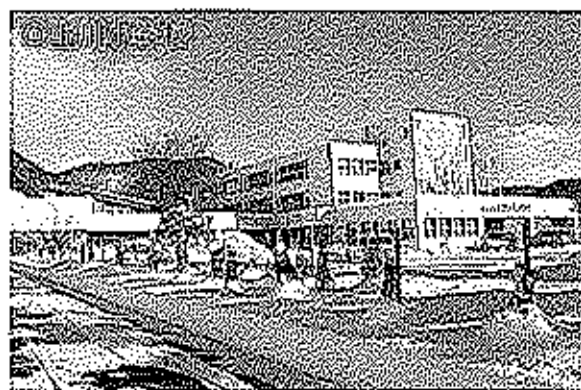
教員免許更新制度は、教員免許の有効期間を10年と定め、有効期間満了の際

に大学などが開設する30時間の免許状更新講習の受講が必須となり、その内容は、教育の最新事情に関する事項12時間以上、教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項18時間以上を受講することになっております。

近年日々大きく変化する社会情勢の中、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的な最新の知識技能を身につけることを目的とするものであります。

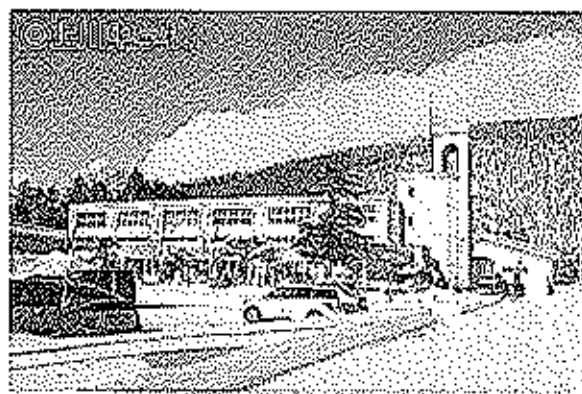
また、教職員の評価制度につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第46条に基づき、道教委の学校職員の評価に関する要綱・要領により、町教育委員会が行うもので、時代の変化に対応して、各学校においても様々な教育課題の解決を求められており、学校はその教育力を一層充実させなければなりません。

教職員の意欲や資質能力の向上と学校の活性化に向け、校長を中心に教職員が相互に連携・協働して、課題解決に取り組み、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進し、その成果を児童生徒に還元することを目的に導入するものと考えております。



2点目のご質問であります。現在、北海道教育委員会におきましては、平成21年度から道立学校に副校長、公立小中学校に主幹教諭を配置することを検討しているところでありますが、この配置基準につきましては

は、道立学校の副校長の場  
合は、単一学科では24学級  
以上、普通科と商業科など  
複数学科で18学級以上と  
なっております。また、公  
立小中学校の主任教諭の場  
合は、小学校で21学級以  
上、中学校で18学級以上と



なっていることから、当町  
におきましては、配置され  
る見込みはありませんが、  
これら導入の考え方として、  
現在、いじめや不登校など  
の生徒指導上の諸問題、あ  
るいは複雑・深刻化する家  
庭や地域への対応など、  
様々な問題を抱える中に

あって、それらに迅速かつ  
組織的に対応していくこと  
ができるよう、学校の組織  
運営体制・指導体制の充実  
を図ることから導入される  
ものであります。

3点目のご質問でありま  
すが、平成20年度交付税算  
定のための基礎数値であり  
ます。基準財政需要額は小学  
校費・中学校費合わせて、  
図書費で1,919千円、  
教材費では7,203千円  
であります。これに対し、  
予算措置されている額は図  
書費で340千円、教材費  
で2,811千円でありま  
す。なお、学校図書整備  
状況は基準では上川小学校  
がわずかに下回っています  
が、上川中学校、層雲峡小  
学校では上回っております。  
予算措置にあたりましては、  
内部協議のうえ必要額を措  
置しているところでありま  
す。

4点目のご質問でありま  
すが、現在、町内の小学校  
で長期欠席者はおりません。  
中学校で3名の長期欠席者  
がおりますが、担任教諭が  
定期的な訪問し、その時に  
保護者と本人に会って生活  
の状況、本人の健康状態、  
今後の進路等話をしていま  
るところであり、また、必要  
に応じ、児童相談所、町保  
健福祉課、上川保健所と連  
絡を取り合い、生活指導、  
今後の進路等の協議、相談  
を行っているところであり  
ますので、よろしくご理解  
のほどお願い申し上げます。

## 新型インフルエンザ 対策は

安部 議員

おおよそ10年周期と言われ  
る新型インフルエンザの出  
現がテレビ、マスコミで取  
り上げられています。

予想されるのは、鳥から  
人間へ、人間から人間へ変  
異したウイルスと言われて  
います。新薬を作るのに最  
低半年も要すると言われて  
いますが、そこで

1つ目として、厚生労働  
省のガイドライン、マニユ  
アルは、町村においてきて  
いるのか。

が示している現在の警戒レ  
ベルは、鳥から人への感染  
は確認されているが、人か  
ら人への感染がないことか  
ら、6段階のうち3段階  
目で流行危険期となってお  
ります。

## 町長 答弁

情勢を見極め  
対策会議を実施する

新型インフルエンザは、  
従来は人に感染することが  
なかつた鳥インフルエン  
ザが変化し、人から人へ  
と容易に感染するように  
なつたものをいい、10年  
から40年の周期で流行す  
るといわれております。

我が国の対策としては、  
重症化を防ぐ発生前のワク  
チンは、国民の約6分の1  
の備蓄となっており、また  
発生後のワクチンは国民全  
員分を製造するのに1年半  
かかるといわれております  
ので、早急な対応策が待た  
れるところであります。

また、この新型インフル  
エンザは、人に免疫がな  
いことから、一度発生す  
ると感染拡大を防ぐのが  
難しく、しかも致死率が  
非常に高いともいわれて  
おります。

世界保健機関(WHO)



1点目の質問であります。上げます。

が、国、道ともです。対策本部を設置し、「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しておりますが、

現段階では具体的なガイドライン、マニュアル等について、市町村には示されてはおりません。しかし町と

してもマスク等で警戒を呼び掛けていることを承知しておりますので、国、道などのホームページ及び機関誌などの情報収集に努めているところでございます。

2点目の質問であります。が、「上川町感染症対策本部設置要綱」に基づいて、町内で感染症が発生し、ま

たは発生の恐れがある場合に迅速かつ適切に予防対策を行うための対策本部を設置しておりますので、新型インフルエンザの対策につきましても、的確な情報収集を行い、社会情勢を見極

めながら、必要に応じて対策会議を実施してまいりたいと存じますので、ご理解を賜りますようお願い申し

### 町立病院の運営計画について

中里 議員

国からは、公立病院改革ガイドライン、道からは、

自治体病院広域化・連携構想が示され、公立病院の経営の抜本的改革が必要になっていきます。

私は、所属している女性団体が実施しました町立病院に関するアンケート調査に参加をいたしました。

7月から9月までの2カ月間に673名の方のご協力をいただき、貴重なご意見をお聞きすることができ、その結果を先日町長にお届けしたところでございます。

今回のアンケートから、町民は赤字経営であることとをほとんどの人は承知をしていますが、家から近くにあり通いやすく、

医師をはじめ職員の方々の優しい言葉に接しながら地元で治療することを願っていることを感じました。

また、病院で治療を受けて家庭に復帰するまでの施設や小児科など広範囲の診療科目を希望する声も多くありました。

また、自分たちでできることは、ボランティアとして役立ちたいと思っている人も多く、協力依頼の方法なども検討すべきと思っております。

一方で、赤字経営なら売却や民間に委託した方がよいという意見も思ったよりも多く、限られた財政の中で、病院会計への一般財源からの繰入金を最小限で食い止め、福祉、教育、商工業振興などに支障のないまちづくりを進めるために、

町立病院の抜本的運営改革が求められていることがわかりました。

そこで今後の運営について町長のお考えを伺いたいと思っておりますのでお願いいたします。

#### 町長答弁

緊急病床を持つ診療所と老人保健施設を併設する

町立病院の経営は、平成

15年度からの医療保険制度改革以降、長期入院患者の診療報酬の減額、また患者数二丁ズの移行による患者数の減員などにより、経営状況が悪化し始め、平成19年度決算では病床利用率は

28・5%と低率であり、繰入金も国の補助金の他に一般会計から1億6千万円の繰り入れを行い、累積欠損金も5億6千万円を超えております。

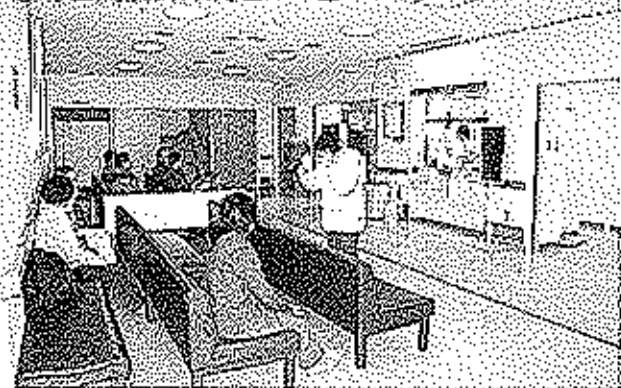
平成20年度決算見込みでは一般会計からの繰り入れがさらに増し、2億1千万円を超える見込みとなっており、非常に厳しい町の財政状況からすると一般会計からの繰入額は限界を大きく超えている状況にあります。

このような状況から、町としても経営の改善を図るべき検討を重ね、先月に開催されました議会特別委員会に町立病院の具体的な方向性について示し、基本的了解を得たところでございます。

その方向性につきましては、町内に他の医療機関が存在しないことから、経営の効率化を図り、規模・形態の見直しを行い医療の確保を行うものであります。その内容は、現在一般病



◎町立病院外来待合



共稼ぎ世帯は小児の発熱な  
 困難をきたしており、また、  
 特に冬期間の通院は非常に  
 できない診療科目の通院、  
 少敷医師での24時間救急体  
 制を整備し、内科・小児科・  
 整形外科・皮膚科などの一  
 般的な病気に対応でき、専  
 門医の力が必要な場合は  
 専門医に速やかに紹介す  
 るなどの一次医療機関と  
 して医療の提供を行いま  
 す。

さらには、医師が町の  
 保健師、福祉関係者や消  
 防の救急搬送体制と連携  
 し、また地域保健活動に  
 も積極的に関わり、住民  
 の健康問題を行政の福  
 祉・保健と一体となった  
 地域医療を進め、将来と  
 もに安定した町民の健康

と安心を確保する方向性の  
 実現を図る考えであります  
 ので、ご理解賜りたいと存  
 じます。

ここ近年、層雲峡観光の  
 入込客数が減少傾向であり、  
 春先からの原油高騰により、  
 ガソリン、灯油の急激な値  
 上げと国の政権不安定によ  
 る観光控えやキャンセルに  
 より、厳しい情勢に立たさ  
 れています。そこに追い打  
 ちをかけるように世界的な  
 金融危機による円高の発生  
 によって、外国人観光客の  
 キャンセルが大量に発生し  
 ていると聞き、層雲峡冬季  
 観光の目玉である氷瀑まつ  
 りにも多大な影響が発生す  
 ることが予想され心配でな  
 りません。

旭ヶ丘の景観を生かし層  
 雲峡観光に結びつけるよう

床54床と医療療養型病床37  
 床を持つ病院から5床程度  
 の緊急病床を有する診療所  
 と29床の老人保健施設を併  
 設する施設に見直しをいた  
 します。

住民の要望として、専門  
 医のいる旭川まで車で約1  
 時間かかる距離であること  
 から、高齢者の多くは、内  
 科をはじめ多種にわたる病  
 気を抱え、町立病院で診療  
 できない診療科目の通院、  
 少敷医師での24時間救急体  
 制を整備し、内科・小児科・  
 整形外科・皮膚科などの一  
 般的な病気に対応でき、専  
 門医の力が必要な場合は  
 専門医に速やかに紹介す  
 るなどの一次医療機関と  
 して医療の提供を行いま  
 す。

これら要望に経営の効率  
 化も考え合わせ、可能な限  
 り応えるべき対応として、  
 これら要望に経営の効率  
 化も考え合わせ、可能な限  
 り応えるべき対応として、

層雲峡観光の現状と  
 今後について

層雲峡観光の現状と  
 今後について

層雲峡商店街

層雲峡温泉の現状と  
 今後について

笠岡 議員

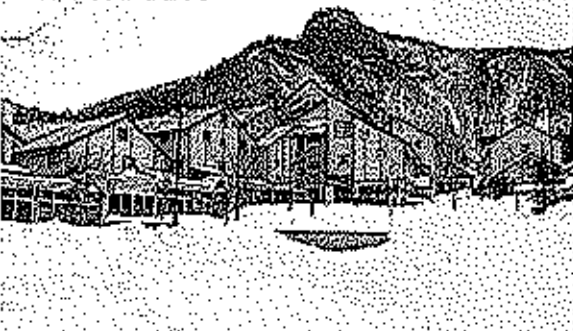
ここ近年、層雲峡観光の  
 入込客数が減少傾向であり、  
 春先からの原油高騰により、  
 ガソリン、灯油の急激な値  
 上げと国の政権不安定によ  
 る観光控えやキャンセルに  
 より、厳しい情勢に立たさ  
 れています。そこに追い打  
 ちをかけるように世界的な  
 金融危機による円高の発生  
 によって、外国人観光客の  
 キャンセルが大量に発生し  
 ていると聞き、層雲峡冬季  
 観光の目玉である氷瀑まつ  
 りにも多大な影響が発生す  
 ることが予想され心配でな  
 りません。

旭ヶ丘の景観を生かし層  
 雲峡観光に結びつけるよう

層雲峡観光の現状と  
 今後について

層雲峡商店街

◎層雲峡商店街



指摘も受けてまいりました。これらの指摘を今後どう反映するか、現在進められております「観光協会特別委員会」に町職員も参画をし、共に検討をしてまいります。

◎層雲峡商店街



3つには、先の広報かみかわ11月号で「まちの活性化を考える」と題して、旭ヶ丘地区の利活用について、私の考え方の一端を述べさせていただきましたが、「上川町地域活性化戦略プラン」職員プロジェクトを立ち上げましたので、農業・商業・観光の振興方策

を関係団体や町民の皆様と共に検討してまいります。4つには、緊急対策として層雲峡温泉「一期一会」を10月20日から12月20日までの間、開催しておりますが、この取り組みが一つの起爆剤としてどのような効果を生むか分析し、今後につなげたいと考えているところでございます。

以上、4点ほど述べさせていただきましたが、観光は我が町の基幹産業であり、まずことから、町民、関係団体、行政が一体となつて対応してまいりたいと考えております。

次に、入湯税約1億3千万円の使途のお尋ねであります。入湯税は環境衛生施設、鉱泉源の保護施設、消防施設その他消防活動に必要な施設の整備や観光の振興に要する費用に充てることを目的としているものであります。

◎消防署層雲峡出張所



衛生施設として下水道終末処理場施設整備関係などに3千100万円、消防施設その他消防活動として、層雲峡消防施設の修繕、備品購入費関係などに3千550万円、観光の振興においては、各種観光施設整備事業関係に2億2千290万円、層雲峡観光協会への補助、観光宣伝等振興事業関係に2千390万円の総体事業費約3億1千300万円に充当しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

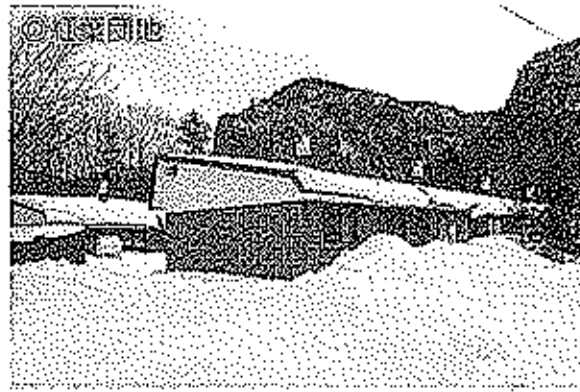
また、層雲峡公営住宅、消防署層雲峡出張所においては、残月峰の岩崩れで危険区域とされ、消防署2階には、アスベストが吹き付けられ、身体においても大変な問題で早急に対策をとっていくべきであると考えます。消防署は、旭川消防本部と大雪消防組合との広域化問題を踏まえて考えていかなければなりません。今後の陸万、層雲峡公営住宅、消防署に対してどのようなお考えをお持ちか町長に伺いたい。

◎陸万公営住宅



町長答弁  
公営住宅ストック総合計画に基づき集約していく  
陸万団地公営住宅の今後の整備につきましては、平成16年度に策定しました公営住宅ストック総合活用計画の中で、平成27年度から入居状況を考慮しながら、順次用途廃止をしていく計画であります。また、層雲峡団地公営住宅につきましても、ご指摘のとおり後背地が急傾斜地でありますことから、平成24年度以降用

途廃止を行い紅葉団地に集約していく計画となっております。



次に、消防署層雲峡出張所につきましては、消防広域化の問題はありますが、将来的にも出張所を廃止することにはならないことから、旧営林署保護所跡地を改築予定地としまして計画しているところであります。

また、出張所2階につきましては現在は閉鎖し、アスベスト大気中濃度測定調査を年1回実施することにより取り壊すまでの間、管理していくこととしており

ますのでご理解をお願い致します。

なお、本年11月に実施をいたしました測定の結果につきましては異状無しとの報告を受けているところでございます。

## 議会・議会広報

に対して、みなさまのご意見をお寄せください。



役場議会事務局へ (3階) ☎2-1211



### 12月臨時会

平成20年第8回上川町議会(定例4)は、上川町税条例の一部改正や各会計補正予算など17件、委員会中間報告や意見案など8件の審議のほか行政報告及び一般質問が行われました。主な内容は次のとおりです。

#### 付託議案等

◎上川町長寿祝い金条例の制定については、敬老年金を廃止し、数え年77歳、88歳、99歳及び100歳の節目の年に祝い金を贈呈するもので、産業福祉常任委員会に付託いたしました。

◎上川町駅前広場設置条例の制定については、上川駅前広場を整備し、管理して

いくため条例を制定するもので、上川町中心市街地活性化計画調査特別委員会に付託いたしました。

票について磁気ディスクをもつて調製することができるよう条文の追加をするもの。



#### 可決議案等

◎上川町印鑑の登録および証明に関する条例の一部改正については、印鑑登録事務の電子化に伴い、登録した印鑑登録原票を磁気ディスクに副本として記録するにあたり、この印鑑登録原

◎上川町税条例の一部を改正する条例については、身体障害者に係る軽自動車税の減免について、18歳未満の年齢制限を撤廃し、減免対象車両の拡大を図り、対象車両の所有実態に沿った内容に改正するもの。

◎上川町手数料条例の一部を改正する条例については、住民票、戸籍附票、火葬認可証等の交付手数料の改正。65歳以上の住基カードの無料交付規定の追加(2年間の時限)するもの。

◎上川町火葬場条例の一部を改正する条例については、使用料を含めた全面改正をするもの。

◎上川町国民健康保険条例の一部を改正する条例につ

いては、産科医療保障制度に加入している医療機関等で分娩した場合は、出産育児一時金に3万円を加算する規定の追加するもの。

金などの額の確定による補正  
げなどによる歳出・歳入の減額補正

●国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

●土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

●損害賠償の額を定めることについては、昨年7月31日に町立病院で発生した医療介助事故について和解が成立したことによる損害賠償額の決定の議決

●後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

●上川広域滞納整理機構の設置については、道と中央部8町で構成する税等の滞納整理のための一部事務組合の設置

●公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

●平成20年度上川町一般会計補正予算(第6号)

●歳出において、層雲峡ボンプ場の洗浄委託の増、歳入において公共下水道債の追加、一般会計繰越金の減額などの補正

●それぞれの科目における事業執行残及び事業確定に伴う予算整理と、歳出において、かみんぐホール駐車場予定地などとするための公有財産購入費、上川小学校校舎耐震化事業、病院事業会計補助金など、歳入において、地方交付税や補助

●水道事業会計補正予算(第3号)

●上川町立病院事業会計補正予算(第2号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

●一般会計補正予算(第7号)

## 町長からの行政報告

11月末における、農作物の出荷状況について行政報告を申しあげます。

水稲につきましては、関係機関によりますと、春先の低温や強風により一部に影響がみられましたが、その後の天候の回復により日照時間、温度とも確保され、登熟も順調に推移し、総割数は昨年より多く、不稔割合については昨年より減少していることから、本年の収穫は昨年と比べ、「良」となり作況指数は117・9と伺っております。なお、本年の作付面積は231・2㌥で、そのうち特裁米の作付面積は44・8㌥となっております。

次に、畑作の状況であります。上川中央農協によりますと、大根につきまし

ては、本年の作付面積は122・3㌥で、生育及び収穫作業については順調に進み、出荷量は約5、150ト、販売金額は5億350万円となり、昨年と比較し、出荷量・販売額とも大きく上回る結果となりました。

大豆につきましては、茨つきは良好でありましたが、作付面積は58・3㌥で、生産量は昨年を約15ト下回る結果となりました。

馬鈴薯については、一部のは場において病害の発生が見られましたが、収穫は順調に行われ、作付面積は22・5㌥で出荷量は680トとなり、作付面積及び出荷量は、昨年を下回ることとなりました。

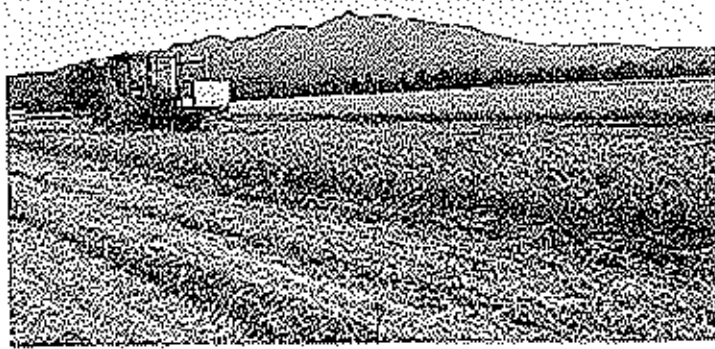
そばにつきましては、作付面積は174・4㌥で昨





年より21・1診増加し、強風による被害は発生しませんでした。6月下旬までの低温、日照不足などにより出荷量は減少したものの、平均単価の上昇により、販売金額は約400万円の増加となりました。

◎大根抜き作業



アスパラにつきました。高温による害虫の発生が多く見られましたが、出荷量は約172千束、販売金額は約2,350万円となり、出荷量、販売金額とも昨年

を上回りました。

総体として、一部の作物に不作がありました。総じて豊稔の秋を迎えることができました。

次に、観光客の入込状況についてありますが、4月から9月の上半期の入込

については前年比90・9%の1,364千人となりました。これは、過去150万人以上の入込を確保してきた層雲峡温泉の大手ホテルなどにとつては、非常に厳しい状況となっております。

入込状況としては、道外客については例年と比べ「横ばい」となりましたが、道内客は前年比で約40%の減となっております。

道内客が減少した主な要因としては、原油価格の高騰によるガソリン価格が高騰したことによるマイカーの乗り控えが考えられるところであり、宿泊客については入込数

と同様に減少しております。前年比91・7%の451千人となっております。ただし、外国人宿泊者については約56千人で、昨年を11・3%上回っており、外国人宿泊者の約8割が台湾からの観光客となっております。

次に、各ホテルの売上状況であります。前年比9・3%の減収となり大変厳しい経営状況となっております。

このことから、層雲峡観光協会では10月20日から12月20日の間、層雲峡温泉湧出151年を記念した「二期一会の感謝祭」を行ない、誘客対策を実施しているところでもあります。

現在、円高の影響により海外からの観光客が減少していることや、景気不安、リストラ等、雇用不安による観光客の減少により、年明けに開催される「水添まつり」に影響がないよう願う次第であります。

# 委員会の動き

上川町立病院の  
運営に関する  
調査特別委員会

- ▽5月29日
- ▽7月29日
- ▽12月4日
- ▽12月15日

## 委員会中間報告

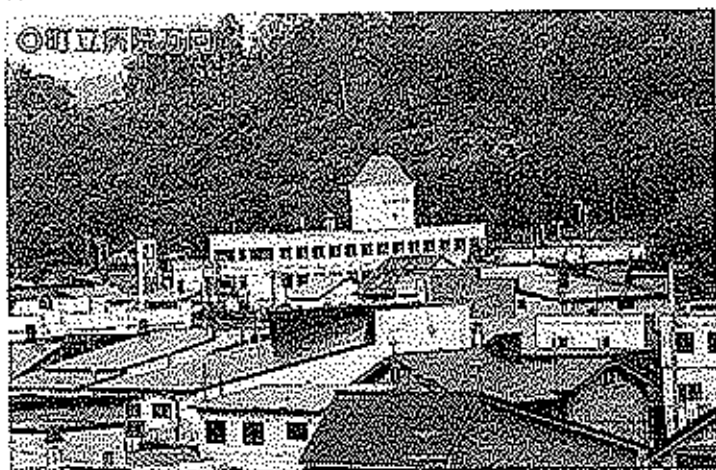
①上川町立病院の運営に関する調査

上川町立病院は、現在内科、外科を中心とし、一般病床54床、療養病床37床の91床により、医師3名をはじめとする総勢53名で運営を行っている。

ここ数年間の経営状況は、平成17年度は国からの交付税及び補助金を除く町単独費で約4千万円を繰り入れて約9千9百万円の赤

字、平成18年度は町単独費8千万円を繰り入れて約9千万円の赤字で、平成19年度は、町単独費約1億6千万円の繰入れを行って約7百万円の黒字となったが、このままでは今後においても経営は一層深刻化する状況である。

◎町立病院の向

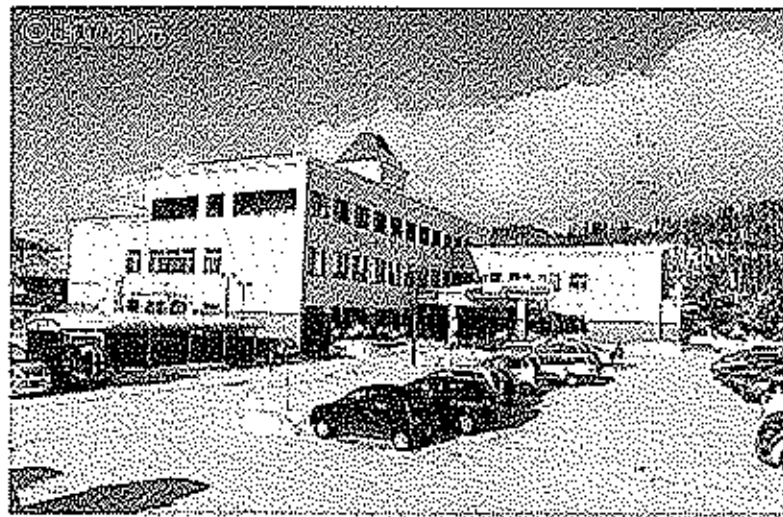


議会は、町立病院の運営

のあり方については、町の最大の課題であることから、特別委員会を設置し調査を実施した。

平成20年度決算見込みで

改革方針や町の財政状況を



社などと連携し地域医療を守る事が現状の上川町の第1次医療の最善の策と判断し、現在そのための医師の確保に向け医療法人と協議中である。

この医療法人は、地域医療を重視する医師の集まりで既に道内でも実績のある法人である。内科、小児科が専門であるが、外科、整形外科・皮膚科・耳鼻科・精神科などについても専門外などとは言わず、とにかく診てくれることを方針としていくことから、今、上川町民に求められている医療であると考えている。また、診療所移行後も現在療養病床に入院されている患者は、継続して受け入れられると考えているとの説明を受けた。

は町単独費2億1千万円も

断した。

行政から示された方針

委員会としては、今後の

の繰入れが想定され、今後において交付税、補助金、医療収入及び繰入金が増額がない限り、今以上の赤字経営が続くことが予測され

住民への周知や余剰職員の見直しなどについては十分丁寧に行い、理解を得る対応をすることを求め、行政から示された方向性については基本的に了解をした。

## 国に意見書を提出しました

- 勤労貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットワークの再構築に関する意見書
- 障害者自立支援法の抜本的改正を求める意見書
- 基礎的年金財源における政府負担の確実な実現を求める意見書
- 子どもを不妊なく生めるよう、産科医及び周産期施設の充実を求める意見書



昨年、諸物価の異常な高騰、世界的な金融危機など日本経済は先行きの見えない1年となりました。町の主産業である観光産業も観光客が大幅に落ちこみ、関連する商工業も経営不振でありました。農業は生産資材の高騰などの悪影響があったなか、大半の作物は豊作で出来秋を迎えられたものの、来年の経営への影響が懸念されます。

このような経済環境の中で新年度を迎え、町の財政環境はさらに厳しさが増すと思われるだけに、自主・自立の道を確立するためには、町民が一丸となって財政健全化に取り組まなければならないと考えております。皆様のご意見、ご要望をお寄せ下さい。

### 議会広報特別委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 安部 逸雄 |
| 副委員長  | 笠間 法考 |
| 委員    | 遠藤 和男 |
| 川上 徹士 |       |
| 久米 得正 |       |